

放課後子ども広場

ー放課後児童クラブとの校内交流型ー

■校内交流型の概要

放課後子ども広場は、町内の小学校1・2年生の児童が対象です。保護者の就労に関係なく、下校時から保護者のお迎えまでの間（夕方5時まで）、本人と保護者がともに参加できる児童の居場所づくりを目的とした活動をしています。

■特徴的なこと・工夫していること

曜日登録制の導入により、希望者全員参加可能です。

希望すれば保護者も一緒に参加可能です。

地域ボランティアの支援を積極的に活用しています。

扶桑町文化祭作品展に「広場作品」として全員出品します。

■校内交流型で実施するプログラム内容

カード遊び、ミニ運動会、音楽鑑賞会など

■課題

子ども広場の活動内容は、個別の遊びよりも友達とかかわっての遊びが中心であるため、コミュニケーションがうまくとれない時にトラブルになることがあります。また、学校自体の児童数の減少により、参加児童が減少したり、逆に児童数が増加により、普通教室利用が難しくなったりする等、持続的な子ども広場の運営が課題となってきました。

■成果

学校や地域から温かい支援を受けているので、のびのびとした活動ができています。また、ボランティアの支援により、日頃の授業では体験できないことを体験することができています。1年生から2年生に進級する時、多くの児童たちが継続利用を希望しています。

■活動の様子



■開催状況

平日5日

■参加人数

4施設合計で平均145人/日

■主な活動場所

普通教室、公民館など

■指導員数

4施設合計で平均15人/日